

## 第9回 大阪蘇生アカデミー開催概要

テーマ: JRC 蘇生ガイドライン 2020 ~蘇生現場への落とし込み~

開催日:2021年12月7日(火)

会場:Zoom webinar によるオンライン開催

### 内容:

午前の部では、『JRC 蘇生ガイドライン 2025に向けて 今後求められる研究』を大きなテーマにそれぞれの分野に精通している演者から、『BLSの Knowledge Gap』、『ALS:2025にはこのデータが欲しい』、『「Maternal」の Knowledge Gap』、『ACS(急性冠症候群)の Knowledge Gap』、『EIT 領域における最新の知見と求められるエビデンス』についてご講演いただいた。講演後には総合討論の時間を設け、各演者に加え厚労省、総務省から迎えたコメンテーターを交え、積極的な議論をすることで最新のガイドライン及び今後の課題へのより深い理解を促した。

午後の部では、昨年度に引き続き海外より演者を招聘し『ニューヨークで診た COVIDの現状と蘇生研究のあり方』をテーマに教育講演を行った。シンポジウムでは『JRC 蘇生ガイドライン 2020 救急現場への落とし込み』を大きなテーマに、ガイドライン作成に関わったそれぞれの演者より『市民用 BLS のポイント~市民に届けてもらいたい編集委員のあつ~い思いをお届けします~』、『ALS:医療用 BLS,心電図波形、気管挿管成功率、アドレナリン投与タイミングを MC プロトコルにどう活かすか』、『G2020 小児における変更点』、『ACS(急性冠症候群)の Topic』、『EIT のポイント:エビデンスと経験を踏まえた救命戦略の実践』について講演いただいた。総合討論では、午前の部に引き続き厚労省、総務省から迎えたコメンテーターに、野々木 JRC 代表理事も交えた討論・参加者からの質疑応答を行うことで、現場へのガイドラインの落とし込みを図った。

### 成果:

本年度も昨年度に続き Zoom webinar による開催となった。救急救命士を主な参加者としつつも、医師、看護師、学生など様々な職種から 1,600 人を越える参加申し込みがあった。当日は常時 600 件以上のアクセスをいただき、一時的には 800 件を越える同時アクセスを得た。結果として当日も 1600 名以上にご参加いただき、昨年度を大きく超える過去最大の参加者を迎えることができた。またその参加者も全国よりアクセスいただき、本会の内容が広く救急に携わる皆さまの知識に還元される会となった。本会終了後のアンケートの結果からは、大変多くの参加者が本会に満足し、次回開催を期待している事を窺い知ることもできた。

<主催> 特定非営利活動法人 大阪ライフサポート協会

<後援> 大阪府、大阪府下消防長会

<共催> 大阪医科薬科大学 救急医学教室

大阪市立大学医部附属病院 救命救急センター

大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター

関西医科大学附属病院 高度救命救急センター

<協賛>

(順不同) 旭化成ゾールメディカル株式会社、株式会社フィリップス・ジャパン、日本光電工業株式会社、日本メディカルネクスト株式会社、日本ストライカー株式会社、オムロンヘルスケア株式会社、レールダルメディカルジャパン株式会社、浜松ホトニクス株式会社、アイ・エム・アイ株式会社、株式会社ドーン、株式会社三和製作所

連絡先

(住所) 〒533-0033 大阪府大阪市東淀川区東中島 1-17-5 ステュディオ新大阪 416 号

(氏名) NPO 法人 大阪ライフサポート協会 事務局

(電話・FAX番号) TEL : 06-6370-5883 FAX : 06-6370-5884

当日の写真



事務局: 大阪会場



事務局: 京都会場

# JRC蘇生ガイドライン2020 救急現場への落とし込み



参加費：無料  
定員：1000名

(昨年700人参加)

## 第9回 大阪蘇生アカデミー 第13回 病院外心停止記録活用研究会

開催日 2021年12月7日(火) 9:30~16:30  
(出入り自由)

開催方法 Zoomによる **オンライン**

申し込み QRコードまたは下記URLよりお申し込み下さい

[https://osakalifesupport.or.jp/resuscitation\\_acad/contact.html](https://osakalifesupport.or.jp/resuscitation_acad/contact.html)



主催：NPO大阪ライフサポート協会

共催：大阪医科薬科大学 救急医学教室、大阪市立大学医学部附属病院 救命救急センター

大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター、関西医科大学附属病院 高度救命救急センター

後援：大阪府、大阪府下消防長会

# 第13回 病院外心停止記録活用研究会 プログラム

時間	内容
9:30-9:35	<b>開会挨拶</b> 京都橘大学 教授 平出 敦
	<b>「JRC心肺蘇生ガイドライン2025に向けて 今後求められる研究」</b> 座長：大阪市立大学 医学研究科 救急医学 准教授 西村 哲郎 日本大学医学部 救急医学系救急集中治療医学分野 診療教授 櫻井 淳 コメンテータ：厚生労働省 医政局地域医療計画課 病院前医療対策専門官 土屋 翼 総務省消防庁 救急企画室 救急専門官 小塩 真史
9:35-10:50	<b>講演1「BLSのKnowledge Gap」</b> 演者：救急振興財団 救急救命九州研修所 教授 畑中 哲生 <b>講演2「ALS：2025にはこのデータが欲しい」</b> 演者：香川大学 医学部 救急災害医学講座 教授 黒田 泰弘 <b>講演3「[Maternal]のKnowledge Gap」</b> 演者：日本大学医学部 救急医学系救急集中治療医学分野 診療教授 櫻井 淳 <b>講演4「ACS（急性冠症候群）のKnowledge Gap」</b> 演者：国立循環器病研究センター 心臓血管内科 医長 田原 良雄 <b>講演5「EIT領域における最新の知見と求められるエビデンス」</b> 演者：京都府立医科大学 救急医療学教室 助教 松山 匡
10:50-11:15	<b>休憩（企業展示）</b>
11:15-12:00	<b>総合討論</b>
12:00	<b>閉会挨拶</b> 京都大学 名誉教授 川村 孝

# 大阪蘇生アカデミー プログラム

時間	内容
13:00-13:05	<b>開会挨拶</b> 大阪ライフサポート協会 京都橘大学 理事長 西本 泰久 教授
13:05-13:55	<b>教育講演</b> <b>「アメリカで診たCOVIDの現状と蘇生研究の今後のあり方について」</b> 座長：大阪急性期・総合医療センター 救急診療科 副部長 木口 雄之 富田林市消防本部 警備救急課 救急調整係 主任 山本 優 演者：North Shore University Hospital and LIJ Medical Center Assistant Professor 篠崎 広一郎
13:55-14:10	<b>休憩（企業展示）</b>
	<b>シンポジウム「JRC蘇生ガイドライン2020 救急現場への落とし込み」</b> 座長：大阪市立大学 医学研究科 救急医学 准教授 西村 哲郎 枚方寝屋川消防組合 枚方東消防署北山出張所 救急担当係長 緒方 亜紗美
14:10-15:25	<b>演題「市民用BLSのポイント -市民に届けてもらいたい編集委員の あつ〜い思いをお届けします-」</b> 演者：京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 クリティカルケア看護学分野 准教授 西山 知佳 <b>演題「医療用BLSおよびALS（心電図波形、気管挿管成功率、アドレナ リン投与タイミング）をMCプロトコルにどう活かすか」</b> 演者：香川大学 医学部 救急災害医学講座 教授 黒田 泰弘 <b>演題「G2020 小児における変更点」</b> 演者：大阪医科薬科大学 救急医学教室 講師 新田 雅彦 <b>演題「ACS（急性冠症候群）のTopic」</b> 演者：国立循環器病研究センター 心臓血管内科 医長 田原 良雄 <b>演題「EITのポイント：エビデンスと経験を踏まえた救命戦略の実践」</b> 演者：京都大学 環境安全保健機構 教授 石見 拓
15:25-15:40	<b>休憩（企業展示）</b>
15:40-16:30	<b>総合討論</b> コメンテータ：大阪青山大学 健康科学部健康栄養学科 特任教授 一般社団法人 日本蘇生協議会（JRC） 代表理事 野々木 宏 厚生労働省 医政局地域医療計画課 病院前医療対策専門官 土屋 翼 総務省消防庁 救急企画室 救急専門官 小塩 真史
16:30	<b>閉会挨拶</b> 大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター 総長 嶋津 岳士